

# 重要湿地の保全に関する勉強会

(令和5年2月5日)

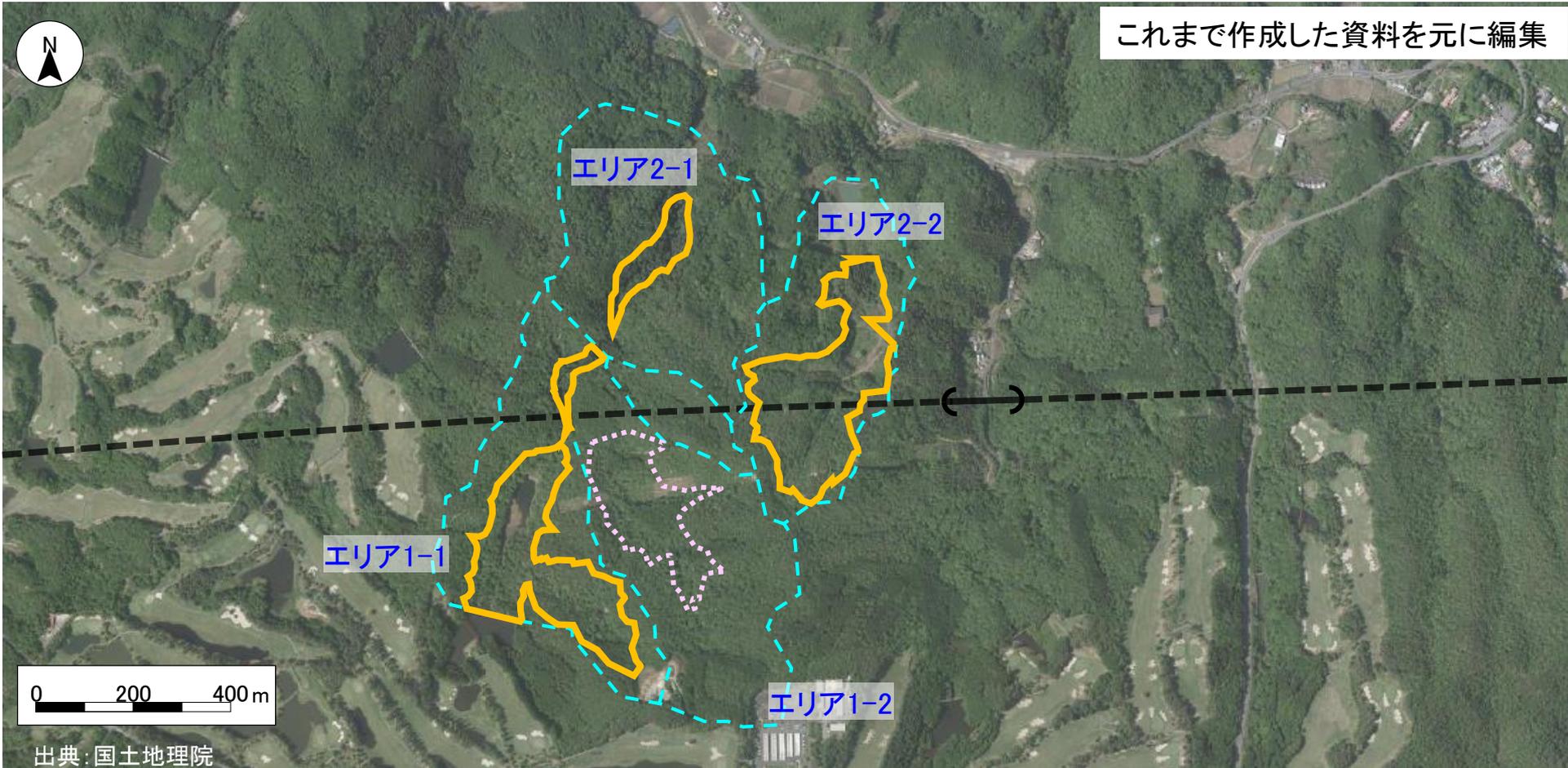
発生土置き場計画の経緯について



2014.08 JR東海が、岐阜県に発生土置き場の斡旋を求め、それを受け県が町に対し  
照会した結果、示された候補地(○)

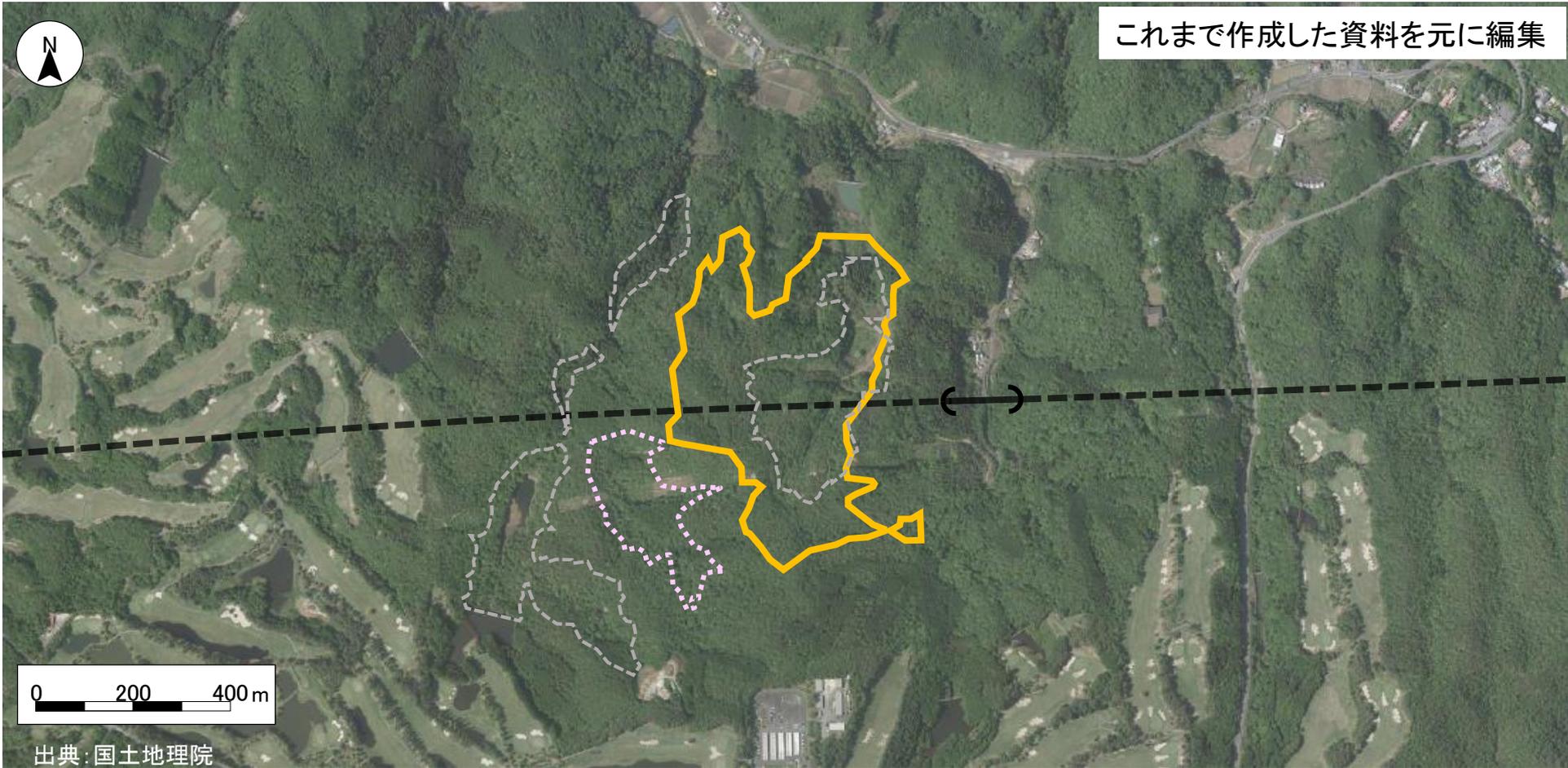
※ (⋯)は、ゴルフ場計画の範囲

2015.04～ 動物・植物の現地調査を実施(一部範囲は、本線のアセス時に実施済)



- 2016.08 候補となった一帯で、谷地形である4つのエリア( )を選定  
そのうち、エリア1-2の谷部( )については、現地調査の結果、ハナノキ等の  
重要種が群生していることを確認したので、盛土の検討範囲からは除外  
残り3つのエリアの中で、盛土が可能な範囲( )を検討

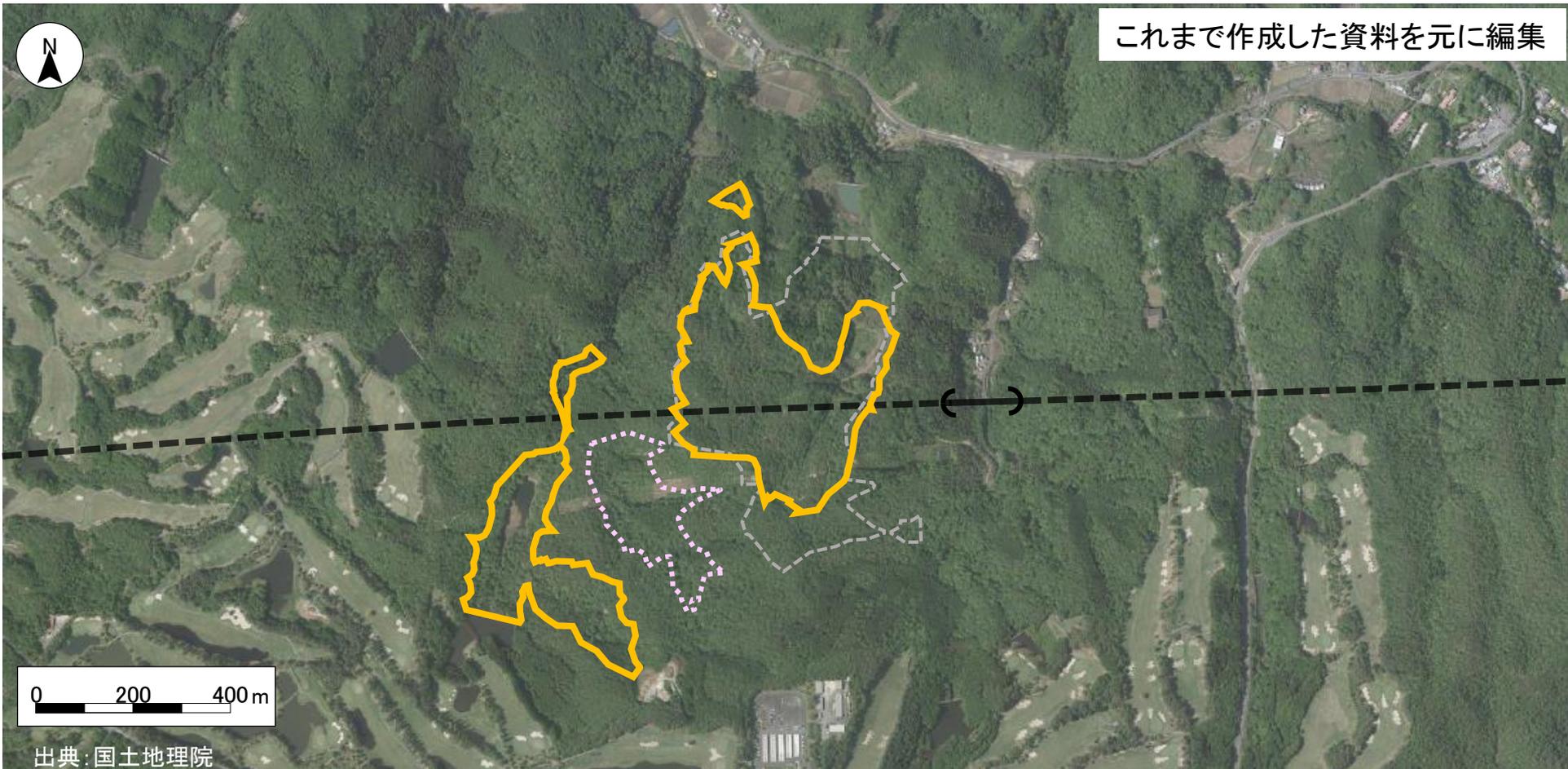
これまで作成した資料を元に編集



2016.10 町から平場の要望を受け、JR東海で平場を設ける案を検討

2017.03 JR東海から町に対し、平場の造成も考慮した案を提示(○)

これまで作成した資料を元に編集

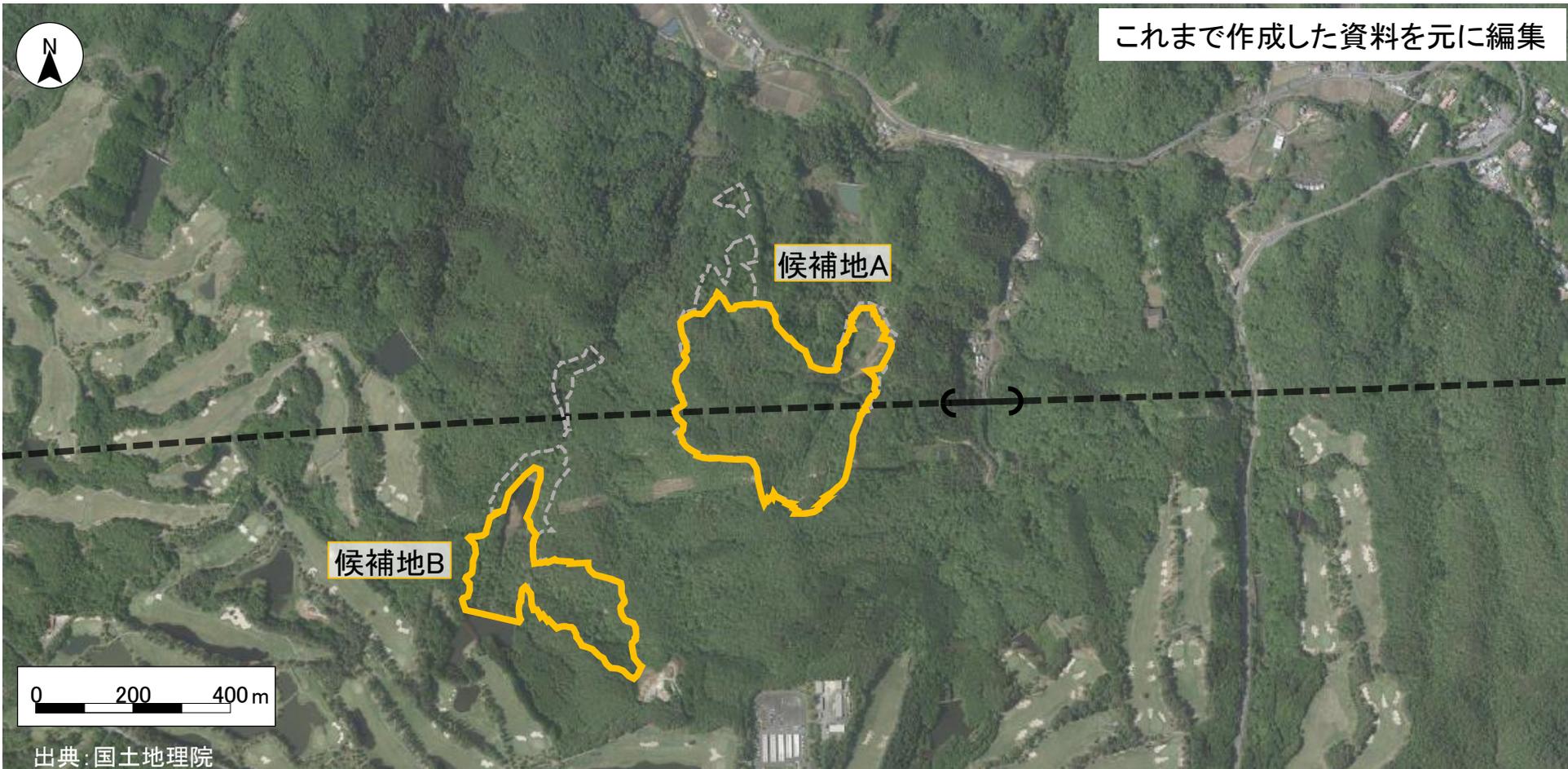


出典：国土地理院

2018.07 JR東海から御嵩町に対し、搬入土量減少分を別途、町有地で確保したい旨を打診

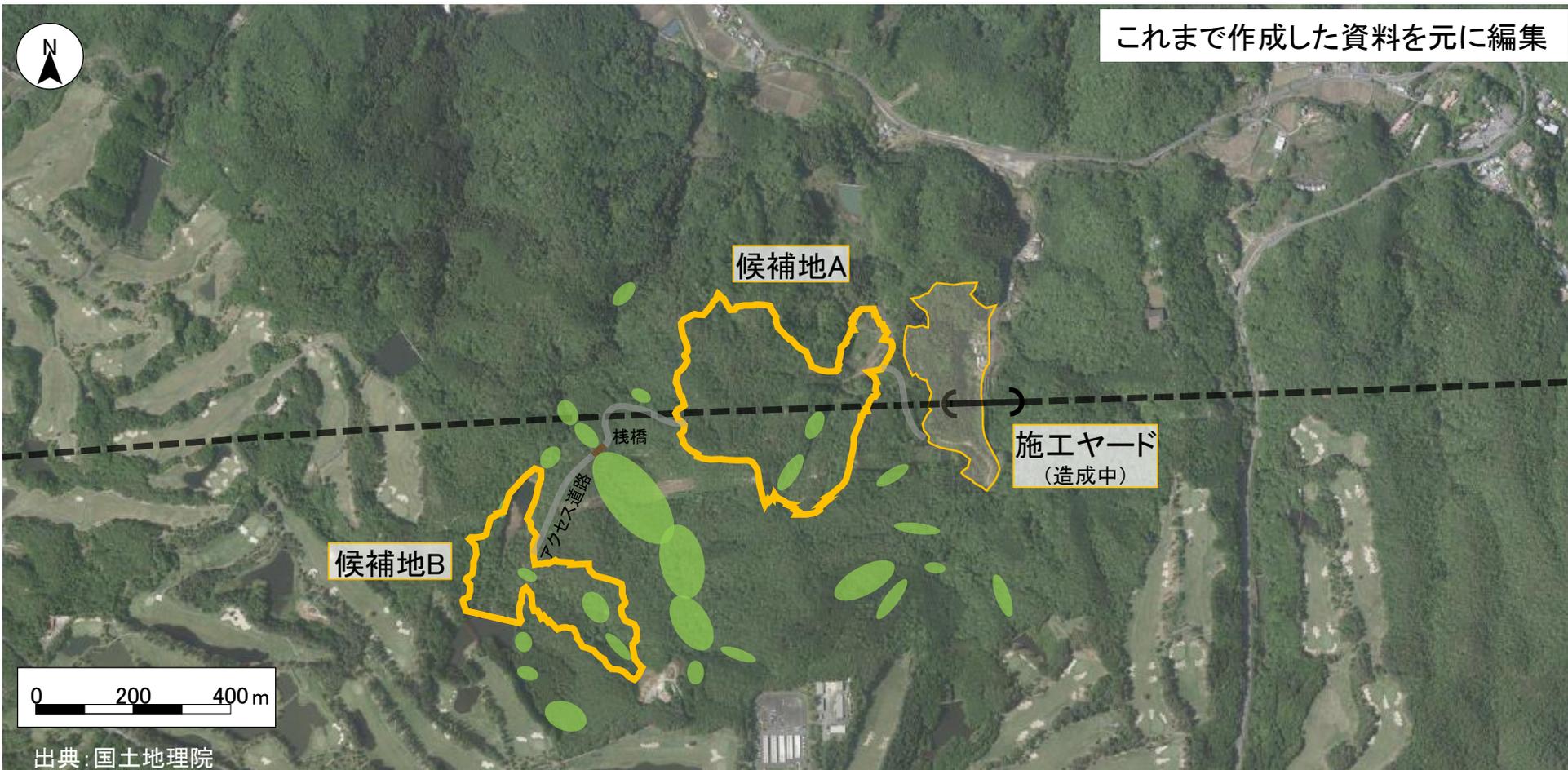
2019.08 第1回町長・町議会議員説明において、町有地を使用した案を提示(○)

これまで作成した資料を元に編集



2022.11 御嵩町リニア発生土置き場に関するフォーラム(第4回)において、JR東海から設計の進捗に伴う、現在の計画を公表(○)

※ 改変範囲等については、最新の情報で記載していますが、設計の深度化、施工の進捗に伴い、若干の変更が生じる可能性があります。



改変範囲内に植生している重要種は、幼木・稚樹の移植等を実施してまいります。  
ハナノキの群生地等において、世代更新のために必要な作業や、重要種の保全のための活動に、協力してまいります。

※(●)は、ハナノキ及びシデコブシの植生範囲(JR東海による調査)を示したものであり、重要湿地の位置を示したものではありません。